

JA大会とは・・・

JA大会は、農業協同組合の意思を結集して組織意識を昂揚し、農業協同組合の発展をはかることを目的として3年に一度、開催するものです。

第29回JA栃木県大会は、平成24年11月13日（火）に、宇都宮市の県総合文化センターで開催されました。大会には、JAの役職員等約500人が参加し、われわれが展開してきた「大転換期における新たな協同の創造」の実行経過を踏まえ、新たなテーマ「次代へつなぐ協同」に取り組むこととし、次の内容を決議しました。

第 2 9 回 J A 栃 木 県 大 会

「次代へつなぐ協同」の実践に関する決議

1. 私たちは、3つの戦略（地域農業戦略、地域くらし戦略、経営基盤戦略）と、戦略を具体化・目標化した3か年計画を策定・実践します。なお、3か年計画は、各々が抱える課題や目標を反映した特徴あるものとしします。
2. 私たちは、3か年計画を着実に実践するため、PDCAサイクルを徹底し、経営管理を高度化させます。
3. 私たちは、国民理解の醸成に向けた広報活動、及び農を基軸とした「いのち・くらし・地域」を守る運動を実践します。
4. 私たちは、全国のJAや県内の消費者団体、他産業・業界団体等と連携し、TPP交渉参加を断固阻止します。
5. 私たちは、東京電力福島原発事故に伴う県産農畜産物の安全安心対策・損害賠償対策を実践し、消費者の信頼確保と生産者の所得確保に努めます。

3つの戦略

<地域農業戦略>

「担い手づくりと農地のフル活用」・「生産販売戦略」等により、農業生産の拡大、農家組合員の所得向上、農を通じた豊かな地域づくりをめざすもの。

<地域くらし戦略>

支店・営農経済センター等を拠点に、組合員・地域住民のくらしのニーズにこたえ、JAくらしの活動・JA事業を通じて地域コミュニティの維持・強化をめざすもの。

<経営基盤戦略>

地域に即した組合員・利用者目線の事業・活動を行い、組合員拡大、資本・財務強化、事業伸長等をめざすもの。